

輸出事業計画

申請者名：南州農場輸出コンソーシアム、品目：豚肉

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・T P P 等により食肉の輸出の条件や環境が大きく変化し、国内販売に重大なマイナス影響を与える事態が発生した場合のリスク分散の為、輸出体制を整備してきた。

・テイクアウト等のニーズにも対応しつつ、小ロットで輸出

・香港フードエキスポ等に出展し、量販店向けセット販売（6部位セット（肩ロース・ロース・バラ・ヒレ・ウデ・モモ））を提案

【課題】

（生産）

・定期定量の輸出の発注ではないため、生産の調整が難しい

（製造・加工）

・輸出用を見据えて製造・加工しても、輸出先の国内情勢により急に発注が途絶えることがあり、製品の長期保管リスクが発生

（流通）

・国内販売に仕向けた生産と調整し商談する必要があり、速達性のニーズへの対応が難しい

・対シンガポール・タイ向けは、商談で商品の形態に様々な要望がある一方、国ごとの取引の慣習に不慣れなことから税関で商品が止められるなどの事態が発生すると取引が途絶えてしまうことがある。

2. 輸出事業計画の取組内容

（生産・製造・加工）

・生産者及び食肉処理事業者、輸出事業者がコンソーシアムを設立し、輸出先のニーズにあった商品作りに一体的に対応し、生産・製造・加工計画を見直すことで長期保管のリスク等を減らす。

（流通）

・香港フードエキスポ等に出展し、量販店向けセット販売の提案を継続。

・シンガポール・タイ向け新商品等のサンプルを用いて積極的なプロモーションを展開。

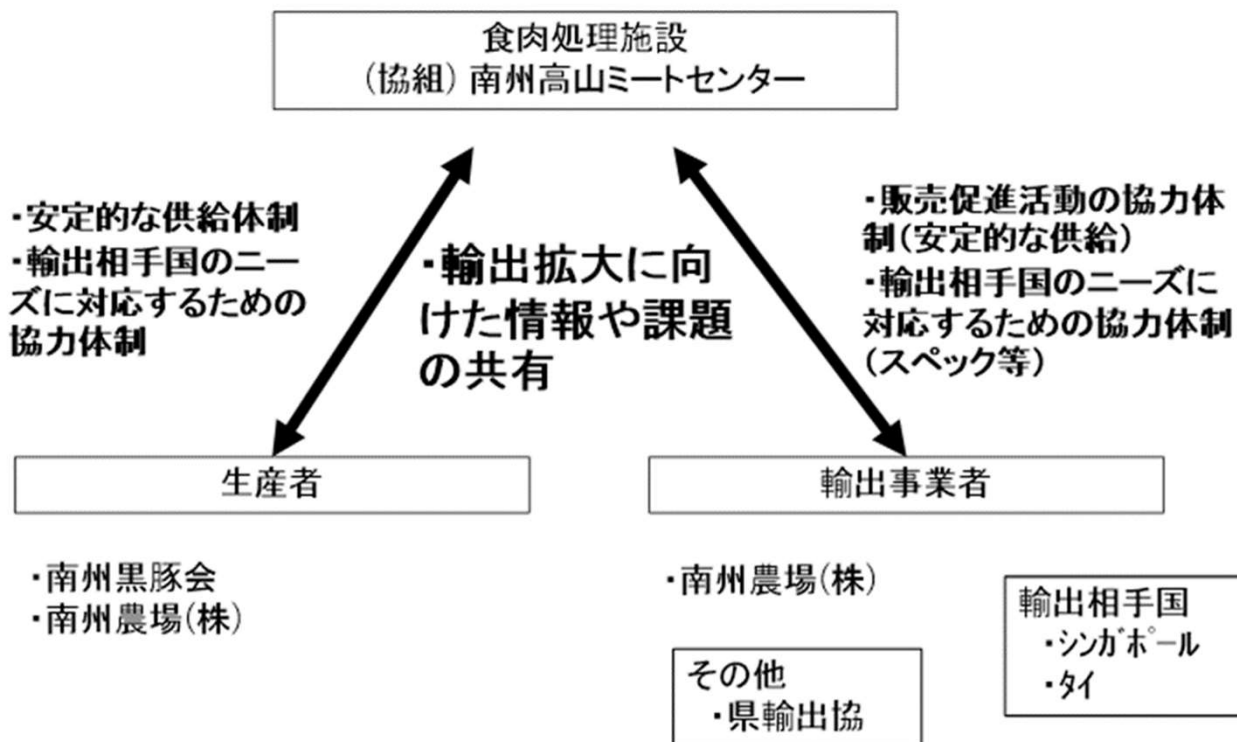
・現地視察などを重ね、小ロットから直接取引を行い、国ごとの取引の慣習や商品の用途、価格相場、為替や国内情勢把握等の営業のスキルアップを行いつつ販路拡大を図る。

輸出事業計画

申請者名：南州農場輸出コンソーシアム、品目：豚肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

南州農場輸出コンソーシアム



4. 輸出目標額

	現状 (令和4年)	目標年 (令和6年)	備考
輸出額(千円)	60,203	67,500	令和4年(平均輸出単価1,303円)を基に算出
輸出量(t)	46.2	50.0	部分肉
輸出先国	タイ・シンガポール・ 香港・マカオ	タイ・シンガポール・ 香港・マカオ	